庄内南・庄内西・千成小学校　校区

- ４月
- ５月
- ６月　第一回　幼保こ小連絡会
- ７月
- ８月　幼保こ小　夏期研修会
- ９月
- １０月　各校運動会
- １１月
- １２月　体験入学
- １月　第二回　幼保こ小連絡会
- ２月
- ３月

次年度に控える庄内よつば学園の開校に向けて、小学校三校で分担して体験入学や園所訪問を行うなど、準備を進める一年であった。どこの園でも子どもたちが抱える困り感、課題などは多様化が進んでおり、今後、一層きめ細かい情報の共有などが求められていくと考えるに至った。低学年や支援の担当者以外でも入学前の子どもたちの様子を知る必要性があると感じた。

子どもの可能性を広げるために～教職員の交流から始める子どもの育ちの接続～

庄内西小・千成小の二校がそれぞれ７月と９月に庄内西こども園、栄町幼稚園の先生方とお互いの園と学校の就学前施設見学を行った。これにより、お互いをより深く知ることができ、それぞれの教育について知見を広げることの一助となった。

次年度は新しい学校になる。体験入学で受け入れる人数も大きく増えることが予想される。分散して受け入れる場合の連絡調整、場所が遠くなるため園児たちの移動手段の確保など、あらかじめ準備しておくことが求められる。

これまでのやり方を踏襲するのではなく、新しいやり方を考えた方が良い部分もあると考える。

お互いを深く知ることで、子どもたちの学びはよりスムースになる。

これまで、さまざまな制約があり、なかなかお互いのことを深く知らないまま、子どもたちの教育を進めてきた。今年度行ったお互いの施設見学は一定の成果を上げたと考える。それにより、大人たちの意識に変化が生じたことは、よりソフトに子どもたちへの途切れる事のない連続性のある教育の実践に大きく貢献すると考える。完成された行事の見学では得られない「生」の姿を感じることで、得られたものはその後の情報共有を経てより具体化された教育活動へと昇華していくことと考える。日程調整や取り組む温度差など様々な制約があるが工夫して続けていくことが望まれる。